

令和２年度第３回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和３年２月２６日（金）

（書面会議にて開催）

回答委員 井上美鈴委員、出口雅志委員、薄葉良委員、阿部秀美委員
吉田修三委員、荒木弓夫委員、田所公司委員、清水寛委員、
鈴木義信委員、齋藤和利委員、水島享子委員、鈴木清委員

１４名のうち１２名が回答。半数以上の回答があるため会議は成立。

１ 協 議

① 令和２年度まなび支援センター青少年指導関係活動報告について

別添 資料 令和２年度木更津市まなび支援センター（青少年指導関係事業）
活動報告書

【事務局説明】

第１回木更津市青少年指導関係運営協議会を書面開催し、本年度の方針についてご承認いただき、第２回運営協議会を開催させていただき、ご意見をいただきながら活動をしてまいりました。

まず、青少年子育て相談については、（６、７ページ参照）１月末現在で、電話相談が５７件、来所相談が５件、メール相談が２１件、合計８３件の相談を受けております。

相談者は、母親が多く、次いで本人からの相談となっております。本人からの相談については、令和元年度１２件に対し、本年度は２２件とほぼ倍に近い件数となっております。

また、特に今年は新学期早々に学校が臨時休業した事もあり、精神不安、学校生活への不適応や不登校についての相談が目立ちました。

相談業務は、早急な判断を求められる場合もありますが、相談者の様子を感じとり、できるだけ話を聞き、気持ちを受け止め、関係諸機関へのつながりも意識しながら、相談者自身が自らの考えを整理できるよう、配慮しております。

街頭指導については、まなび支援センター所員による青パトでのパトロール、および青少年補導員による地区指導を実施してまいりました。

１２月末現在で１０２回実施し、のべ２８７名が参加しております。子ども達を見守り、非行や地域犯罪への抑止力となるべく、引き続きパトロール等を実施してまいります。

特別指導につきましては、例年、「みなとまつり」における「花火大会」終了後の街頭指導やＪＲ乗車マナー指導を行っていましたが、本年は花火大会が中止されたことや新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から両指導を中止いたしました。

特別街頭指導ですが、１２月１１日に木更津駅太田山口前ロータリーにて「SNSと上手く付き合おう。」と題し、主に高校生を対象に青少年健全育成キャンペーンを実施し、啓発物を配布いたしました。ここ何年かはインターネット上に一度でも掲載すると二度と消えないということを周知する啓発物を配布していましたが、本年度は個人情報の発信や発言等のインターネットにひそむ危険の注意喚起を行う内容を添付した啓発物を配布いたしました。また、若干ではございますが、生徒、児童の集まる図書館や中央公民館に啓発物を置き、配布いたしました。

青少年補導員研修については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から三密をさけるために、集会での形ではなく、書面を配布し、研修内容の動画配信を行いました。

昨今、ネットパトロールだけでなく、ネットリテラシーの教育も重要となっており、小中学校につきましては、来年度からタブレットが一人一台配布されることになっております。ますますインターネット上のトラブルを回避し、正しく活用する能力が求められており、「SNSの中に生きるこどもたちのリスク」というテーマで、インターネットにひそむ危険性等の啓発活動を行うための基礎的な知識を再確認するため研修を行いました。

ネットパトロールにつきましては、千葉県の県民生活文化課で実施しているネットパトロールのほか、社会教育指導員を中心にネットパトロールを行い、学校名等をキーワードにして検索を行いました。

各種団体が主催するキャンペーンにつきましては、本年度は新型コロナウイルスの影響によりすべて中止となりました。

１月末現在、ニュースレターを２回の発行、出席・参加した会議・研修については資料をご確認ください。

以上が活動報告となります。

(別添資料のとおり承認)